

取扱説明書

GT GAUGE-52

センサータイプ

この度はPIVOT製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。



ホワイト照明 グリーン照明

- 水温計 **GSW-5 / GSW-5G**
- 油温計 **GSO-5 / GSO-5G**
- 油圧計 **GSP-5 / GSP-5G**
- 電圧計 **GSV-5 / GSV-5G**

目次

- セット内容・警告・注意 1
- 特長 1
- 各部の名称と各機種 2
- 配線接続方法 2~3
- 製品の固定 3
- 基本動作 4
- 故障かな？と思ったら 4

内容物をご確認ください



装着時に準備する 道具と材料

- ・ニッパー
 - ・圧着ペンチ
 - ・絶縁テープ
 - ・レンチ
 - ・センサーアダプター（ネジサイズ1/8PT）
 - ・シールテープ（液漏れ防止用）
- など

警告

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輛破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品の固定、配線処理は確実に
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意

下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない
故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す
- まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

特長

最新技術と場所を取らない 52mmというサイズ。

メーター本来の見やすさを追求したデザインに、52mmという小型で単品でも複数でも装着しやすく視界の邪魔にならないサイズにステッピングムーブメントによる高精度表示を実現した、まさにエンジンを知るためのメーターです。

オートピーク表示

エンジン始動時からのピーク値をエンジン停止時に表示。

簡単装着のワンボディ

別ユニット不要でメーター部のみで簡単に装着できます。

シンプルデザイン

飽きのこない伝統的メーターのシンプルデザイン。

高精度ステッピングモーター

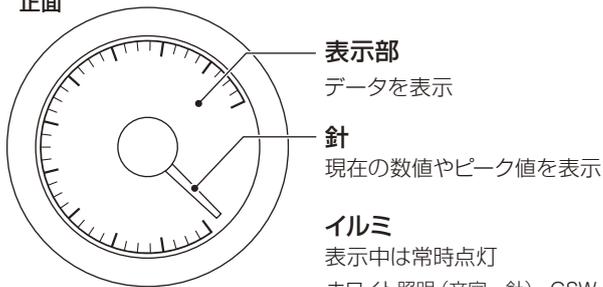
コイル式のように指針のオーバーシュートがなくレスポンスのいい動作。

バンドホルダー付属

様々な場所にメーターを設置しやすいバンドホルダーを付属。

各部の名称と各機種

正面



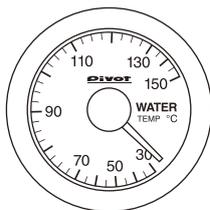
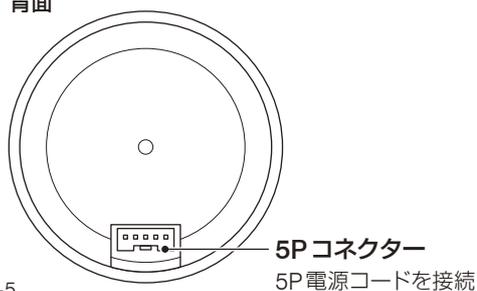
イルミ

表示中は常時点灯

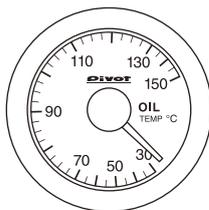
ホワイト照明 (文字・針) GSW-5 / GSO-5 / GSP-5 / GSV-5

グリーン照明 (文字・針) GSW-5G / GSO-5G / GSP-5G / GSV-5G

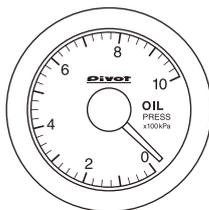
背面



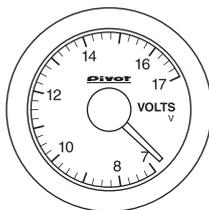
水温計



油温計



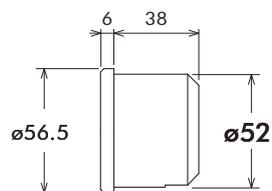
油圧計



電圧計

表示	30~150℃	30~150℃	0~1000 kPa	7~17 V
ピーク値	最高側	最高側	最低側	最低側

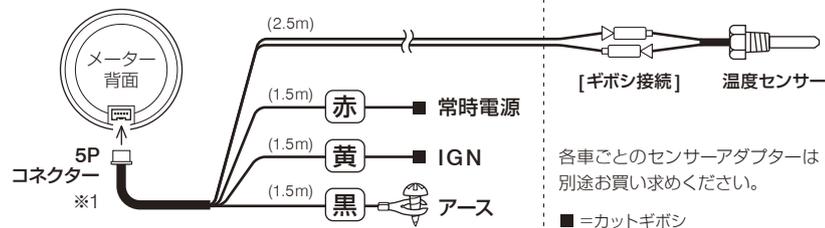
サイズ [単位:mm]



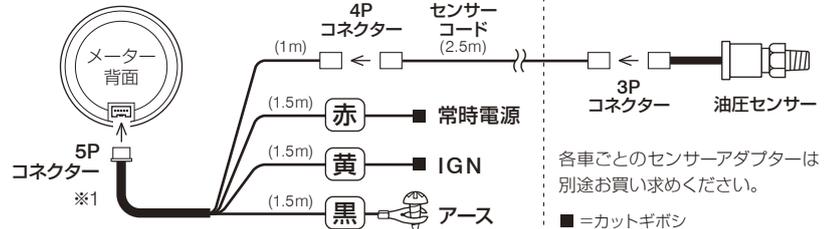
配線接続方法

基本配線 ⚠️ 安全のため、配線作業時はバッテリーの⊖端子を外してください。

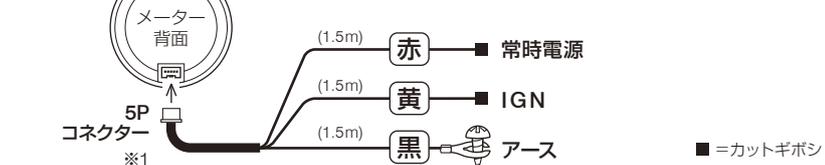
水温計・油温計



油圧計



電圧計



常時電源

赤 常時+12Vの場所へ
付属のカットギボシを使用し、接続する。

IGN

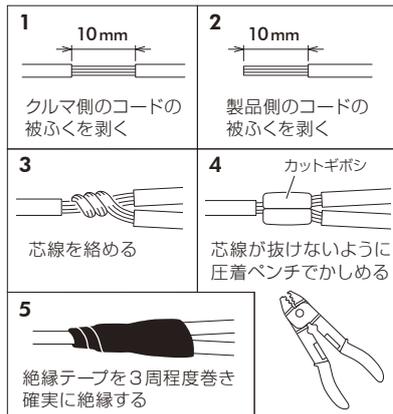
黄 キースイッチ ONで+12Vの場所へ
付属のカットギボシを使用し、接続する。
(常時・ACC不可)

アース

黒 アース端子付 アースが取れる金属部の
ネジに固定する。

プラスチック部や塗装したネジではアースが
取れませんので、確実にアースの取れる場所
で固定してください。

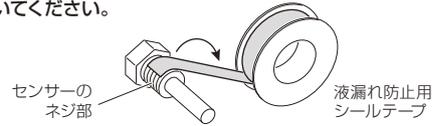
カットギボシの使い方



※1 故障の原因となるため、別の品番の5Pコネクターを接続しないようご注意ください。

各センサーの取付方法

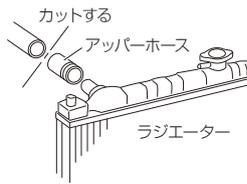
- 取り付ける場所に応じたセンサーアダプター（ネジサイズ1/8PT、市販品）をご用意ください。
- センサーアダプターの取り付けは、各アダプターの取扱説明書に従い、水や油漏れのないようご注意ください。
- 火傷やケガの恐れがあるためエンジンが冷えてから作業を行ってください。
- 各センサーのネジ部には必ず液漏れ防止用シールテープを巻いてください。



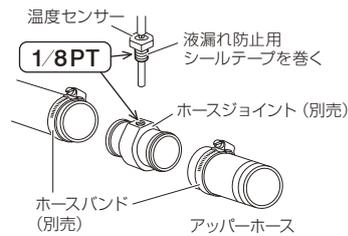
水温センサーの取付

ラジエーターのアップパーホースへホースジョイント（別売）を使用して装着します。

- ① ラジエーターのアップパーホースを適当なところでカットします。（冷却水が出ますので補充用クーラントをご用意ください。）

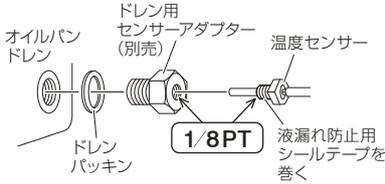


- ② カットしたアップパーホースへホースバンドを通し、ホースジョイントを割り込ませ、固定します。その後、水漏れのないようにセンサーを確実に取り付けます。

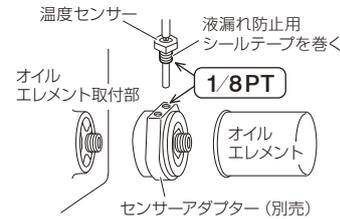


油温センサーの取付

オイルパンのドレンの場合



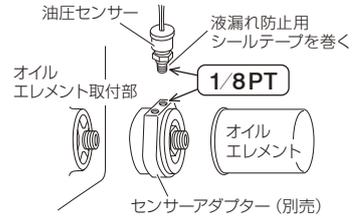
オイルエレメント取付部の場合



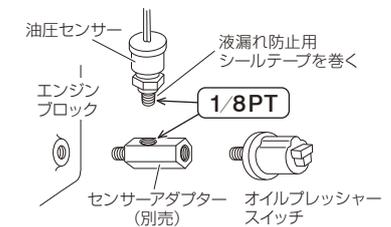
注意 最低地上高の低いクルマや悪路を走行するクルマの場合、センサーが下方方向に突起するような取り付け方をすると、地面等に接触し破損・故障の原因となりますので別の場所へお取り付けください。

油圧センサーの取付

オイルエレメント取付部の場合



オイルプレッシャースイッチ取付部の場合



※スバル水平対向エンジンについて

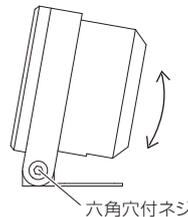
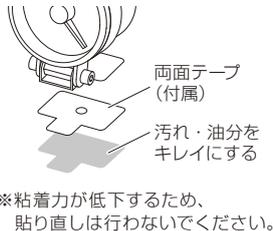
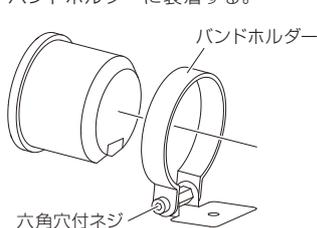
スバル水平対向エンジンの場合、オイルポンプにあるネジ穴を利用して油圧センサーを取り付けると圧力の脈動が大きく、センサーが破損する恐れがあるため、オイルエレメント取付部のアダプターを使用してお取り付けください。

製品の固定

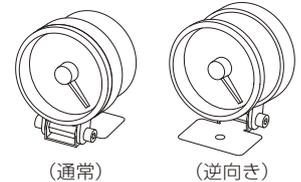
バンドホルダーを使用する場合

強度のある場所に両面テープを使用して固定します。（コラムカバー上、ダッシュボード上など）

- 1 ネジを少しゆるめ、メーターをバンドホルダーに装着する。
- 2 両面テープで固定する。
- 3 見やすい角度に合わせた後、ネジを固定する。

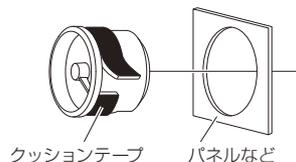


※ホルダーは、逆向きでも使用できます。



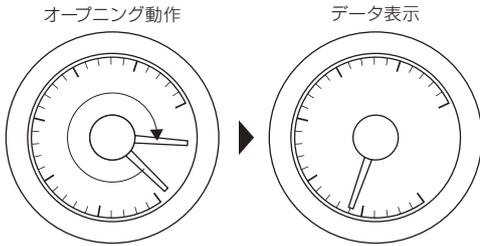
パネルなどに埋め込む場合

- 1 メーターの根元にクッションテープを巻く。
- 2 直径52mmの穴に圧入状態で差し込む。



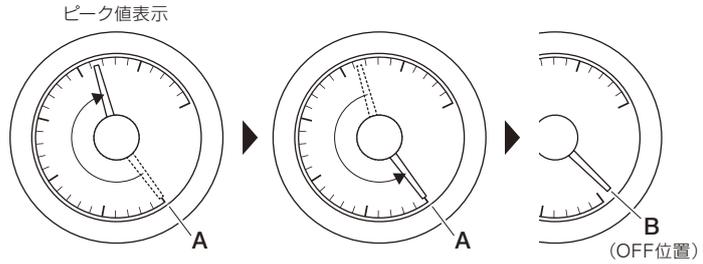
基本動作

エンジン始動 ▶ 針がオープニング動作後にデータ表示。



※ コネクタ装着後またはバッテリー交換後は、初回のみオープニング動作が長くなります。

エンジン停止 ▶ 針がAの位置からピーク値を数秒間表示。ピーク値表示後、針がAの位置へ移動し、イルミ消灯後にB (OFF位置) へ移動。



※ 水温計と油温計はエンジン始動後の最高値、油圧計と電圧計は最低値をピーク表示します。

※ OFF位置後に再始動するとピーク値はリセットされます。

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
メーターが動かない。	5Pコネクタ (赤) (黄) (黒) コードの接続不良。	再度ご確認ください。
	別の品番の5Pコネクタを接続している。	「配線接続方法」をご確認ください。
オープニング動作はするが表示しない。	温度センサー の接続不良または断線。	再度ご確認ください。
	油圧センサー 油圧センサーコード の接続不良または断線。	再度ご確認ください。
オートピークが表示されない。	(赤) (黄) コードの配線間違い。	必ず (赤) コードは常時電源、(黄) コードはIGN電源へ接続してください。
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーのマイナス端子を外したことによる。	バッテリーのマイナス端子を戻し、車輛の説明書に従って再設定してください。

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には、近年不正競争防止法等の法的処置が厳しく適用される事例があります。
 ※PIVOTマーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。